

## 仲間の輪を広げ健康づくり

— 全国老人クラブ大会表彰 —

全国老人クラブ連合会老人クラブ育成功労表彰を受賞された谷口昭夫さんと同優良老人クラブ表彰を受賞された若栄会会長福嶋晃さんが11月26日、佐々木市長に受賞の報告をされました。谷口さんは八木町老連の会長として6年間活躍。合併後は南丹市老連設立に向け尽力され、初代会長を務められました。若栄会はカラオケやスポーツを通して仲間づくりを推進される一方、長年八木駅前の花壇の手入れや駅周辺の除草など環境整備に努められています。



▲佐々木市長に受賞報告  
(左から池田瞭市老連副会長、福嶋さん、谷口さん)

## 消防団の円滑な活動に向け

— 南丹市消防委員会答申 —

市消防団組織再編について、11月16日、村田正夫消防委員会会長から答申書が提出されました。市消防団組織再編計画は、消防団の活性化と組織の充実強化を図るため、団員定数を現状に合わせることや団組織のスリム化を行うことなどを定めており、委員会で計画内容について議論されました。村田会長は、「団員確保の取り組みなど団活動がスムーズに行えるよう、地域と行政のバックアップが不可欠。今後も継続して審議していく」と話されました。



▲消防団の再編について意見を交わす村田会長(中)、小林副会長(左)と佐々木市長

## みんなの駅きれいに便利に

— 園部駅西口広場改修など —

歩道一面を天然石風透水性ブロックで整備する改修工事が12月3日完了しました。この工事に併せて、京都伝統工芸大学から卒業生の石工芸作品の展示申し出があり、カエルや女神など4点の作品がバス停付近に設置され、駅利用者の注目を集めています。また、11月19日には、JR園部駅西口環境維持協議会活動として初めての清掃を実施。高校生や学生、事業所の社員など218人が参加し、落ち葉の清掃や道路脇にたまった泥の除去が行われました。



▲駅前の清掃作業を行う学生たち

## 暮らしやすいまちの実現へ

— 「南丹市住生活基本計画」策定委員会 —

11月15日、市役所で南丹市住生活基本計画策定委員会を開催し、市民代表と府・市職員から選出した15人の委員が出席。委員長に廣瀬孝人氏、副委員長に中川幸雄氏を選出しました。住生活基本計画は、総合振興計画の下位に位置する住宅部門のマスタープランで、市街地、中山間地で異なる課題の解決や市営住宅の適切な維持管理など、市の住宅政策の方向性や具体的な取組内容を明確にするため、今年度末までに策定します。



▲計画の策定に向け議論する委員ら